

筑波大学附属駒場中・高等学校

中高農芸部



本日は **中高農芸部** の展示に
お越しくださりありがとうございました。
お楽しみいただけただけなのであれば幸いです。
2014年 11月 1日～3日



第63回文化祭リーフレット
のうげいびより

目次

目次	1P
農芸部とは	2P
農芸部の活動	
春	3P
夏	4P
秋	5P
冬	6P
イベント	7P
実験	9P
関係者挨拶	10P

挨拶

本日は中高農芸部の展示にお越しくださり、ありがとうございます。
す。高校部長のHです。

今年度は文化祭実行委員を務めている関係で農芸部に貢献できず、私が挨拶するのも恐縮なのですが、一つ話をしようと思えます。英語で文化を **culture** といいます、この単語には栽培という意味もあります。それは **culture** が心を **cultivate** (耕す) ことに由来するからで、耕す行為が人間にとっていかに重要かを示しているようです。

春秋戦国時代の中国では鉄製農具と牛耕が導入され農業生産性が高まり、家族単位での土地の私有が促されました。また 17 世紀後半のイギリスではノーフォーク農法が導入され、産業革命の下地をつくりました。他にも西洋列強によるプランテーション、ソ連のコルホーズなど、農業は歴史的かつ政治的に格別で複雑な意味合いを帯びてきました。つまり人類が在る限り農業に向かい合うことは欠かせないのです。

この展示を通じて、みなさまに農業の奥深さ、身近さを知っていただけるとこの上なく幸いです。

全部員、顧問教官へ 5 年分の感謝を添えて。
高校農芸部長HK

実験

目次

農芸部とは？

春

夏

秋

冬

イベント

実験

挨拶

すでにふれているように、今年は農業関係の実験を行いました。初めての企画であるため、実験に不備があったのか、実験結果は必ずしも臨んだほど正確ではありませんでした。

農芸部では7つの実験に取り組みましたが、計画段階で断念した実験や作物の栽培に失敗した実験が多く、わかりやすい成果が得られた実験は半分程度でした。

実験の準備には多くの手間がかかるようです。また、準備を完了し実験を行っても、思うような成果が得られないこともよくあるようです。



農芸部とは？

目次

農芸部とは？

春

夏

秋

冬

イベント

実験

挨拶

農芸部は、学校内にある農芸部専用の畑を使っての野菜の栽培を主要な活動としています。部員はこの畑で採れた野菜を、収穫し、持ち帰っています。

その他にも、農業関係の簡単な実験などの活動も行っています。

畑で作物を育てていない時は、畑の整備に取り組んでいます。具体的にはクワやスコップで畑を耕したうえでふるいなどを使って小石を取り除く、雑草を抜くなどの作業をしています。

畑での活動の他にも、バーベキューや鍋といったイベントも開いています。このイベントでは、農芸部が畑で収穫した野菜も使って料理を作ります。

このように部員達が共同で作業をすることが多いので、部員同士の交流が盛んなため、フレンドリーな部活として知られています。



農芸部の活動・春

春には多くの新入生が入部して、部活は一段と活気を増します。この季節は、部員が増えるだけの季節ではなく、夏野菜を育て始める季節でもあります。

夏野菜を育てるには、ゴールデンウィークまでに苗を植える必要があります。そのため農芸部ではこの時期に、年間の予算計画を考え、肥料や苗などのものを買集めます。今年はナス・ピーマン・トマト・キュウリ・トウモロコシなどを育てることにしました。



また、苗などの用意と並行して、畑を整備して作物をすぐに植えられるようにする作業もします。今年は畑周辺部の雑草に畑が浸食されかけていたために、大規模な除草を行いました。雑草の中でも笹は根が深く、除草に多くの労力を必要としました。

また今年は、初めて導入することとなった、実験のための準備をこの時期に始めました。実験のために条件をそろえて作物を栽培することは、普段の作物の栽培との相違点が多く気を遣いました。

・スイートポテト大会

本校では、前身が農業学校ということもあり、毎年中学3年生がサツマイモの栽培を行うという授業を行っています。それとは別に、農芸部でもサツマイモ栽培を行っています。スイートポテト大会では農芸部で収穫したサツマイモを使ってスイートポテト作っています。もちろん作ったスイートポテトは部員に食べられます。

・鍋パーティー

3月に、本校調理室で収穫した冬野菜などを使って、鍋パーティーをしました。



・弁論大会

本中学では、毎年弁論大会を行っています。これは、各HRや部活・その他の団体がテーマを選び、それについて弁論をする行事です。今年は農芸部も参加しました。農芸部の弁論テーマは日本の農業についてでした。この弁論大会を通じて部員の農業への理解が深まりました。

イベント

昔の農業に収穫後の収穫祭や豊作を願う行事があったように、農芸部でも収穫への感謝を込めてイベントを行います。今年はバーベキュー、スイートポテト大会、鍋パーティーを催しました。

また、校内の行事の一つである弁論大会で、農業について弁論を行いました。

簡単ではありますが下に紹介していきます。

・バーベキュー大会

例年農芸部では駒場野公園のバーベキュー場を利用しバーベキューを行っています。

このバーベキュー大会では、トマトやナスなどの収穫物を使っています。また、単にバーベキューを楽しみ、収穫に感謝するだけでなく、部員の交流を深めるという効果もあります。



農芸部の活動・夏

夏になると春に植えた夏野菜が収穫の時期を迎えます。今年には主にナス、トマト、キュウリなどの作物を収穫しました。トウモロコシは残念ながら収穫できませんでした。風媒花を育てるのは難しいようです。

夏野菜の収穫を終わらせた後は、秋野菜であるカボチャなどの種まき・苗の準備をしました。作業は、春にする夏野菜の栽培のための準備と同じです。雑草が少なかったため、この作業は春の作業よりも楽でした。

夏休みには、部員が交代で登校し、畑の水やり・作物の収穫作業をします。それだけでなく、部活全体で大規模な除草もしました。

そして夏がおわるころには夏の始めに植えたカボチャは大きく成長し、小さいながら実をつけていました。

前頁で触れた、実験用の植物も大きく育ち、実験の結果が得られました。くわしくは実験のページで触れます。



農芸部の活動・秋

秋になると農芸部の畑はガラッと変化します。夏に大きく育ったキュウリやトマトなどは処分され、代わりに冬野菜の苗が植えられます。

春に植えたサツマイモは収穫の時期を迎え、今年はカボチャがそのツタをととても長く伸ばし、畑の総面積の3割ほどにもなりました。



さて、この時期は筑駒の行事の中でも最大のイベントである文化祭があります。農芸部もこの文化祭に出展します。農芸部は文化祭の準備を夏休み前から始めていますが、準備が本格化するのは季節9月ごろです。

農芸部の活動・冬

皆様が文化祭の展示をお楽しみいただけただけなのであれば幸いです。

冬は農閑期なので、農芸部の活動回数も減少します。

冬には農作業はできませんが、その代わりに部員達は、畑の周囲の使用されていない土地を畑にして、畑の拡大と整備に取り組みます。今年も例年通り、本格的な作業が行われました。結果として、畑の面積は2割ほど増加し、畑にあった高低差も半分程度に減少しました。



また、今年の冬は農芸部の畑にも雪が積もりました。雪景色の畑は普段よりも一層美しいです。四季の畑の変貌が分かる貴重な体験だったと思います。

